

安来高校植物図鑑（2021年10月）

和名: セイタカアワダチソウ（背高泡立草）

ついにこの花が安来高校の敷地内に咲いているのを発見してしまいました。1年前は見かけなかったのですが…。明治時代に観賞用として日本に運ばれ、第二次世界大戦の後には大繁殖しているのが確認されたのだそうです。同じ属のアワダチソウ(正式名はアキノキリンソウ)よりも背が高いことからこの名前になりました。10月に道路の路肩で大量に咲き誇っているのを見かけます。周囲の植物の成長を妨げる物質を根から分泌することから、あっという間に広がっていくのです。中庭で3個体見つけたので、もう時間の問題かも。



このまま広がっていくかもしれません。花を拡大すると左の写真のような様子でした。一時期、花粉症の原因では？と騒ぎになったことがありましたが、この花は花粉を飛ばさない虫媒花です。秋の花粉症の方、ご安心ください。



和名: コスモス（秋桜）

野草というよりは園芸種に近いと思います。今年はなぜか3年5組の窓からのぞいたところにコスモスが咲いています。どなたかが植えたのでしょうか？しかも3色。このままコスモス畑になったら綺麗でいいかもしれない、と勝手ながら思いました。コスモス(cosmos)という名前は独特ですが、スペイン人がメキシコからこの花を持ち帰り、美しいという意味のギリシャ語 kosmos から名付けたのではないかとされています。したがって、星が美しく並んで輝く宇宙も cosmos なのだそうです。でも日本人は桜に似て美しいと思ったのでしょうかね。



コンクリートの上に赤とんぼがとまっていました。赤とんぼは種の名前ではなく、赤みがかかった色をしているトンボの総称です。その中でも一番有名なのはアキアカネですが、左の個体はアキアカネではなさそう…。生まれたときは茶色ですが、夏に山に登り、秋になって里に戻ったころには赤くなっています。赤い色は繁殖期を迎えた証拠なのだそうです。

コンクリートの上に赤とんぼがとまっていました。赤とんぼは種の名前ではなく、赤みがかかった色をしているトンボの総称です。その中でも一番有名なのはアキアカネですが、左の個体はアキアカネではなさそう…。生まれたときは茶色ですが、夏に山に登り、秋になって里に戻ったころには赤くなっています。赤い色は繁殖期を迎えた証拠なのだそうです。